

■ 第27回 多摩川流域セミナー

「いのち育む河口干潟」～安全、安心、やすらぎの拠点～

主催：多摩川流域懇談会
多摩川（大師河原）

今回のセミナーは、大師河原に新しく出来ました「大師河原水防センター」のお披露目を兼ねまして、近くに広がる河口干潟について取り上げてみたいと思います。

多摩川河口に生息する生物や環境、河口にまつわる歴史の話を聞きながら、河口干潟の重要性や将来に向けての保全について、いっしょに考えてみませんか？

また、当日は午前中に式典およびイベント、13:00より水防センター開館を記念して、松の記念植樹も行います。

● 日時

… 平成19年12月16日（日） 13:30～16:30

● 場所

… 「大師河原水防センター」2階会議室（12:50より受付開始）

京浜急行大師線「東門前駅」 徒歩7分

駐車場はありませんので、当日は車でのご来場はご遠慮ください



完成した大師河原水防センター



● プログラム

◇ 13:30 集合・開会のことば

長島 保(多摩川流域ネットワーク 代表)

会長あいさつ

高橋 裕(多摩川流域懇談会 会長)

◇ 13:40 基調講演

・「近年の河川災害と川づくり」

山田 正(中央大学理工学部教授)

◇ 14:30 話題提供

・「多摩川対岸での活動紹介 ～干潟の環境と生物～」

小山 文大(NPO法人 地域パートナーシップ支援センター)

・「大師河原に生まれ住んで」

池上 茂一(NPO法人 かわさき歴史ガイド協会理事)

・「河口をめぐる多摩川の歴史」

長島 保(地域史研究家)

◇ 15:40 ディスカッション(意見交換)

◇ 16:30 閉会のことば

鈴木 研司(京浜河川事務所長)

● 問い合わせ先

・・・ 多摩川流域懇談会事務局 NPO法人多摩川エコミュージアム

TEL.FAX.044-900-8386  <http://www.seseragikan.com>  office@seseragikan.com

■ 第27回 多摩川流域セミナー 開催報告

「いのち育む河口干潟」～安全・安心・やすらぎの拠点～

主催：多摩川流域懇談会

平成19年12月16日（日）、大師河原地区に新たに完成した「大師河原水防センター」の2階にて、第27回多摩川流域セミナーを開催しました。

今回のセミナーでは、『「いのち育む河口干潟」～安全・安心・やすらぎの拠点～』というテーマのもと、多摩川河口域の環境に生息する生物、河口域にまつわる歴史、大師地区にお住まいの方からの話を聞きながら、参加者のみなさんと活発な意見交換をおこないました。

当日は、風が強く、寒かったにもかかわらず、総勢94名のみなさまにお集まり頂きました。



1 開会のことば・会長あいさつ

多摩川流域ネットワーク（TBネット）代表の長島保さんの開会のことばに続きまして、多摩川流域懇談会の高橋裕会長からあいさつがありました。



2 基調講演 「近年の河川災害と川づくり」

中央大学工学部の山田正教授から『近年の河川災害と川づくり』というタイトルで基調講演が行われました。

近年の集中豪雨の増加傾向や、最近発生した水害・環境対策と治水対策のお話や兵庫県豊岡市で行っている、野生のコウノトリを復活、地球温暖化による水害の増加などなど、身近なお話から専門的なお話まで多岐にわたる話題で参加者は熱心に聞き入っていました。



3 話題提供

今回のセミナーでは、多摩川河口域をテーマに、3名の方からの話題提供を行いました。

(1) 多摩川対岸での活動紹介 ～干潟の環境と生物～

まずNPO法人地域パートナーシップ支援センターの小山文大さんによる『多摩川対岸での活動報告～干潟の環境と生物～』です。小山さんは大師地区対岸の大田区を中心にして活動されています。小山さんのお話によると、地域の子どもたちと一緒に干潟の生きものを調べたり、環境学習を行ったり、また未来に残せるような、裸足で遊べる干潟を目指して、清掃活動等も行っているようです。



(2) 大師河原に生まれ住んで

2つめは、NPO法人かわさき歴史ガイド協会理事の池上茂一さんによる『大師河原に生まれ住んで』です。池上さんは、子どもの頃から80年間、この大師地区にお住まいのようです。そんな大師地区の事をよくご存じの池上さんからは、羽田空港や競馬場のお話など多摩川河口域にまつわる逸話など、おもしろおかしくお話ししていただきました。



(3) 河口をめぐる多摩川の歴史

3つめは、地域史研究家の長島保さんによる『河口をめぐる多摩川の歴史』です。長島さんは、昔学校の先生をされていて多摩川流域の歴史に大変お詳しく、今回は大師地区の歴史的なお話をして頂きました。

「中世では川崎・大師河原は多摩川左岸にあった！」など、参加者は、大師地区の歴史の新たな発見に大変興味深げに聞き入っていました。



4 ディスカッション(意見交換会)

参加者全員によるディスカッションは、柳澤亘(京浜河川事務所河川環境課長)と中村文明さん(TBネット)のコーディネートのもと行われました。

「温暖化による気候変動に対して必要な治水対策は?」「多摩川をフィールドとした団体はどのくらいあるか?」「干潟でとれたシジミは食べられるのか?」「江戸前はどこからどこまでを指すの?」等々、多様な質問・意見が出され、参加者のみなさんと活発な意見交換を行いました。

一般参加者からの質問に対して、話題提供者だけでなく参加者からも解答がされるなど会場全体で情報の共有ができました。これが多摩川流域懇談会が掲げるパートナーシップのあり方の一つであると思います。



5 閉会のことば

最後に、鈴木研司（京浜河川事務所長）のあいさつで、第27回多摩川流域セミナーは幕を閉じました。



■ 記念植樹も行いました！

大師河原干潟館を記念して、水防センター内の「大師河原一丁目公園」の入口付近に、かつて多摩川沿いに多く生えていた松の木を植樹しました。

